

1. 本体施設の概要について

1	名称	特別養護老人ホーム芦別慈恵園
2	所在地	北海道芦別市旭町28番地
3	開設年	1970年2月
4	建物階数	地上：2階
5	併設サービス	ショートステイ、デイサービス、居宅支援事業
6	敷地面積	12311.39㎡
7	建築面積・延床面積	建築面積：2505.57㎡、延床面積4785.44㎡
8	都市計画区域区分	都市計画区域内、建蔽率60%、容積率200%
9	建物の構造	RC造
10	平均要介護度	3.74
11	ホテルコスト	従来型個室：34,500円/月(1,150円/日) 多床室：9,600円/月(320円/日)

2. 改修の全体像

サテライトの実施により本体の定員は112名から96名に減員。
 6ユニットに分けていた2階部分を5ユニットに改編し、全てのユニットにキッチンを設置する改修を行う予定。
 2階部分は2床室6部屋を残して、全て個室にする予定。
 1階部分は改修を行わず、4床室を残していく予定。
 改修費用は3～4千万円程度を想定している。

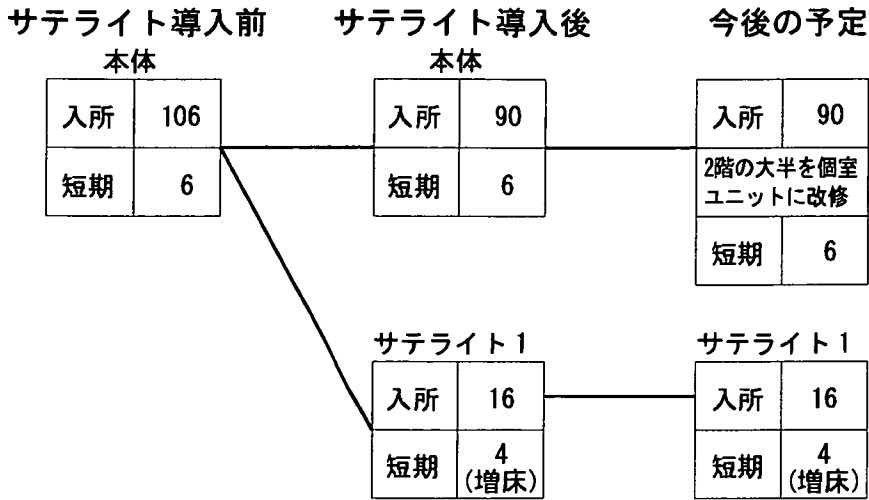
3. 改修の状況

年	内容
1970年	定員50名で開設
1971年	定員100名に増床
1978年	定員106名に増床
2000年	国道拡幅工事に伴い、全館建替え(2001年完成)

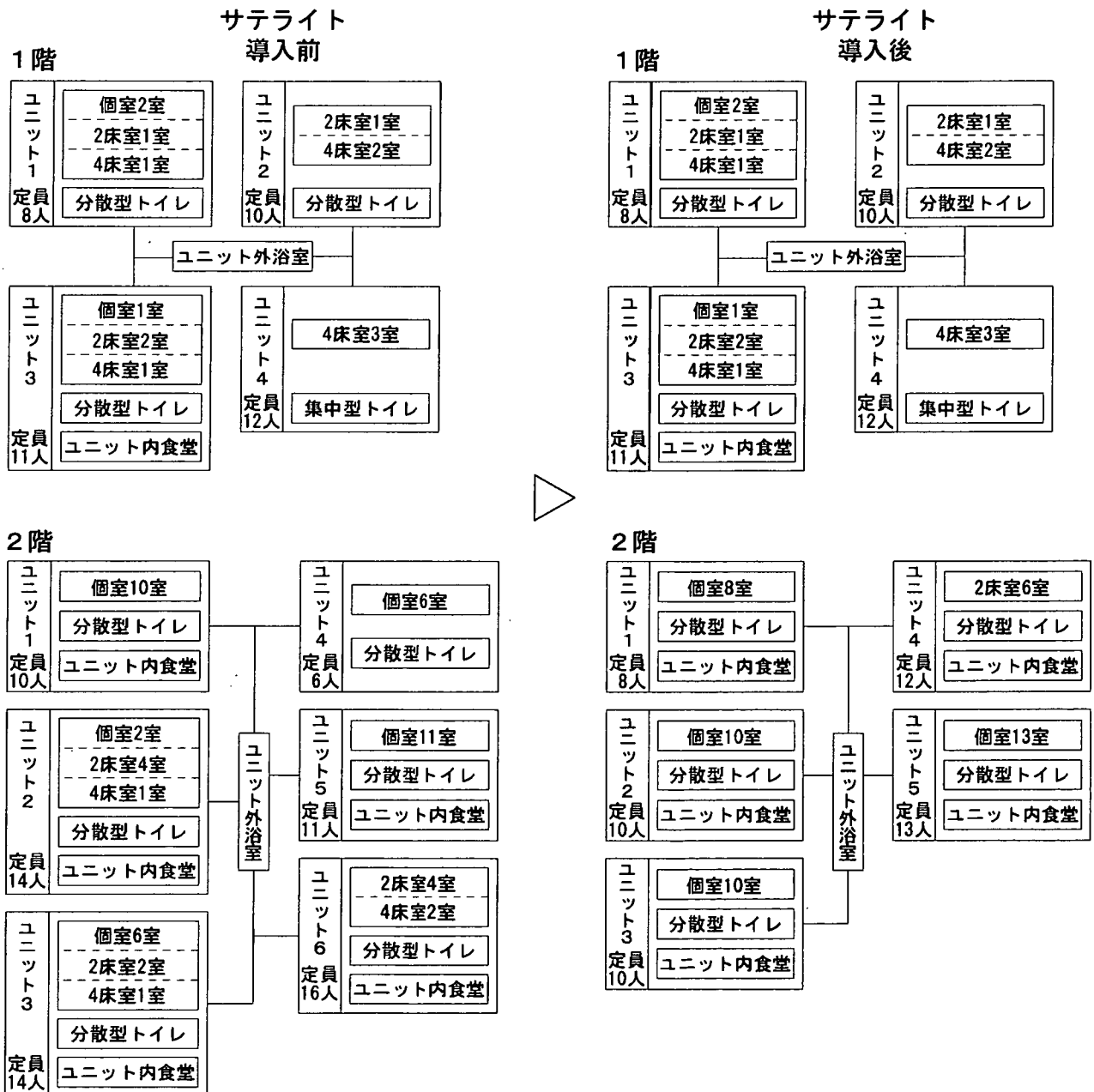
4. ソフト・ハードの概要

		改修前					改修後(予定)				
ソフト	定員	入所： 106名 短期入所： 6名					入所： 90名 短期入所： 6名				
	ユニット数	10ユニット					9ユニット				
	ユニット定員	1階 8人×1ユニット、10名×1ユニット 11人×1ユニット、12名×1ユニット 2階 6名×1ユニット、10名×1ユニット 11名×1ユニット、14名×2ユニット 16名×1ユニット					1階 8人×1ユニット、10名×1ユニット 11人×1ユニット、12名×1ユニット 2階 8名×1ユニット、10名×1ユニット 12名×2ユニット、13名×1ユニット				
ハード	職員配置	2.0:1					-				
	入居者：看護+介護職員	2.0:1					-				
	居室	個室	2床室	3床室	4床室	その他	個室	2床室	3床室	4床室	その他
	改修内容	38	13	0	12	0	46	9	0	8	0
食堂	ユニット毎の有無	1階：職員室、廊下を利用 2階：1ユニットを除いて食堂あり 食堂にはキッチンあり					1階：変更無し 2階：各ユニットに食堂・キッチンを設置				

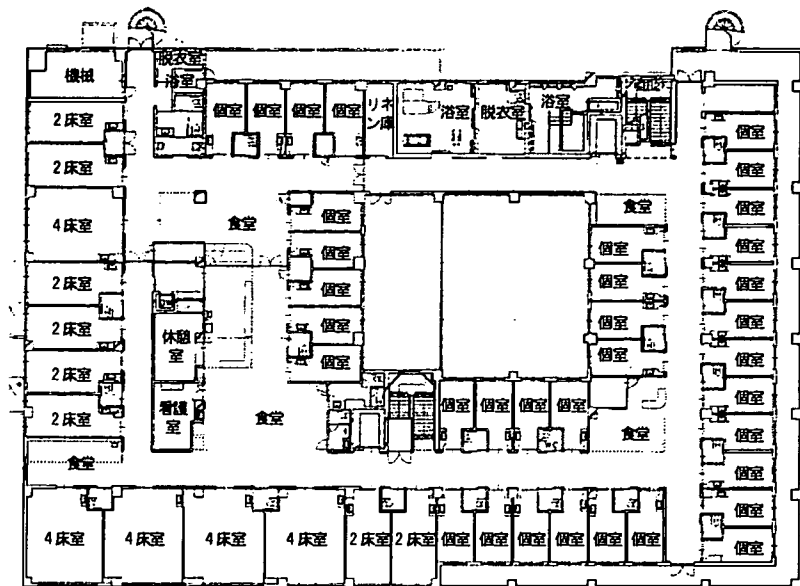
図表 1-7 本体施設の概要



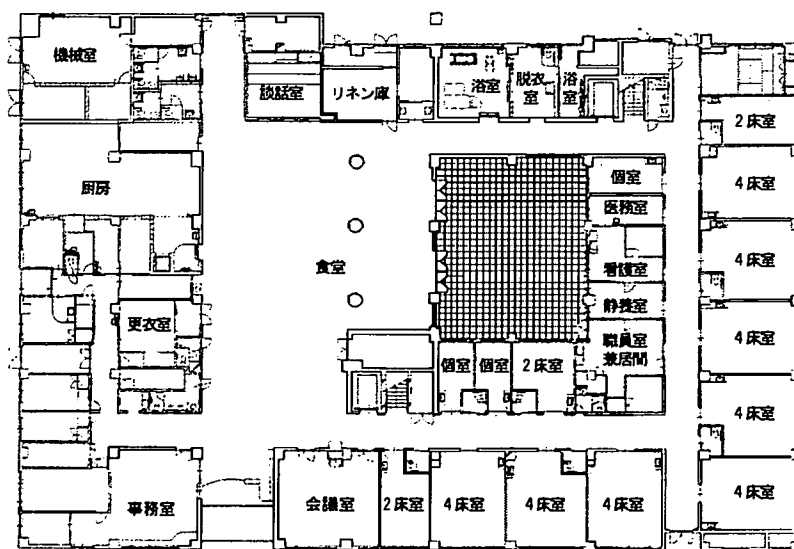
図表 1-8 サテライト展開の概要



図表 1-9 本体改修の概要



2階平面図



1階平面図

図表 1-10 本体施設の平面図 1/600

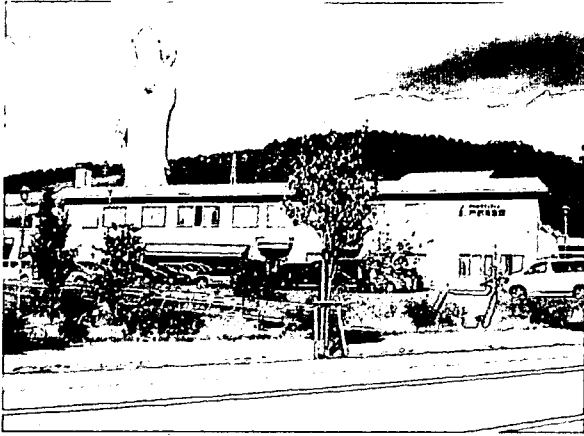


写真 外観

国道沿いに立地している。周辺には大規模な宿泊施設やスキー場がある。向かい側には関連医療法人の精神病院がある。

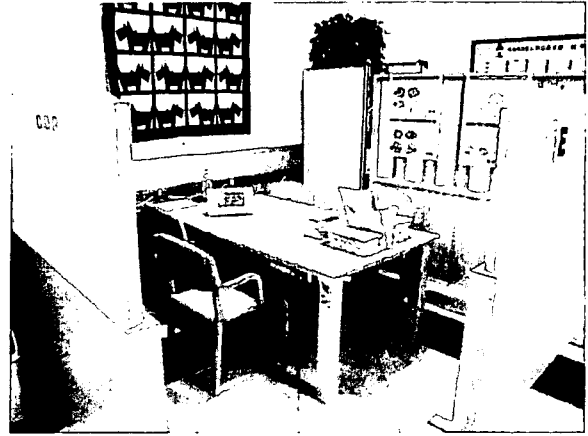


写真 学習療法スペース

1階の玄関ホールの一部を学習スペースに改修。ブースごとに分かれており集中して作業が行える。



写真 食堂

1階の職員室を食堂スペースに改修。畳スペースもある。

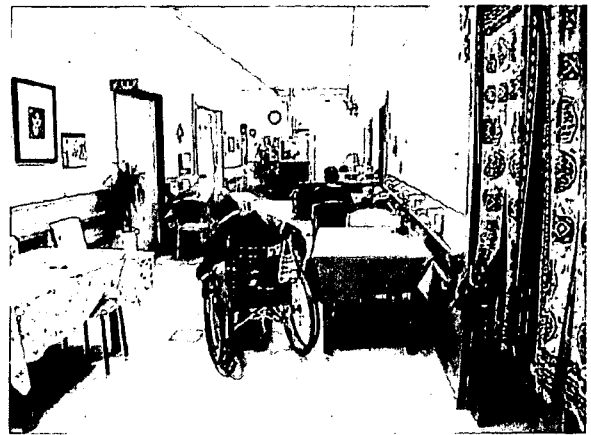


写真 廊下部分

食堂スペースの確保が難しいユニットでは廊下を食堂として利用。複数の家具が分散して配置されている。



写真 食堂

2階の食堂部分。地域住民からの寄付により集められた家具が数多く配置され、複数の居場所が作り出されている。



写真 2床室

サテライトへ転居した2床室部分。今後は個室として利用する予定。面積は21.3㎡以上。

調査事例2 社会福祉法人 楽晴会	本体施設名	三沢特別養護老人ホーム
	サテライト施設名	岡三沢ぬくもりの家 栄町ぬくもりの家

法人の概要

社会福祉法人楽晴会は、青森県三沢市にて養護老人ホーム（晴ヶ丘老人ホーム）と特別養護老人ホーム（三沢老人ホーム）を運営している。三沢老人ホームは昭和42年に定員50床の特別養護老人ホームとして開設され、昭和50年に50床の増床、昭和54年に10床の増床が行われた。そして、現在では入所定員110名、ショートステイ5名となっている。

三沢市は南北に長く、南西部（三沢駅周辺）に人口が集中している。三沢老人ホームは、中心部からやや離れた南東部に位置しており、連携関係のある市街地の市民病院まで車で10分（雪の場合は20分）程度の距離にある。三沢市の施設サービスは北部に別法人が運営する高齢者施設があるのみであり、市の中心部およびその周辺（南西部）の施設サービスが不足していた。

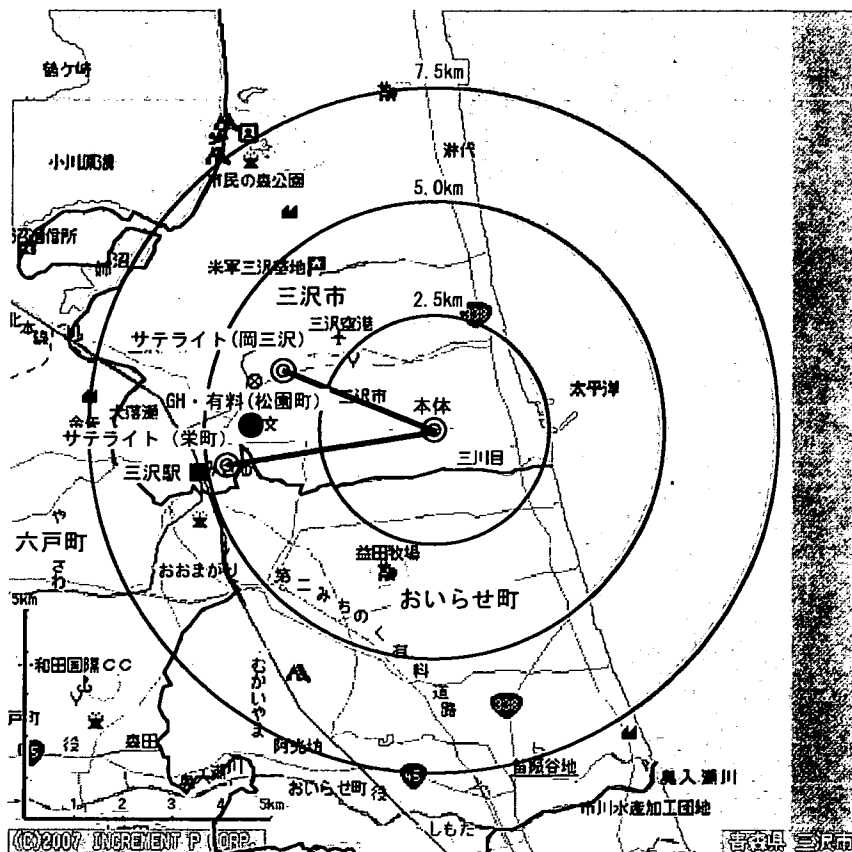
このような状況を鑑み楽晴会ではサテライト型特別養護老人ホームに先立って、2003年から空白地域の南西部（松園町）に地域密着型サービスをイメージしたグループホーム（9名）と有料老人ホーム（18名）を運営している。

本体およびサテライトの立地と位置関係

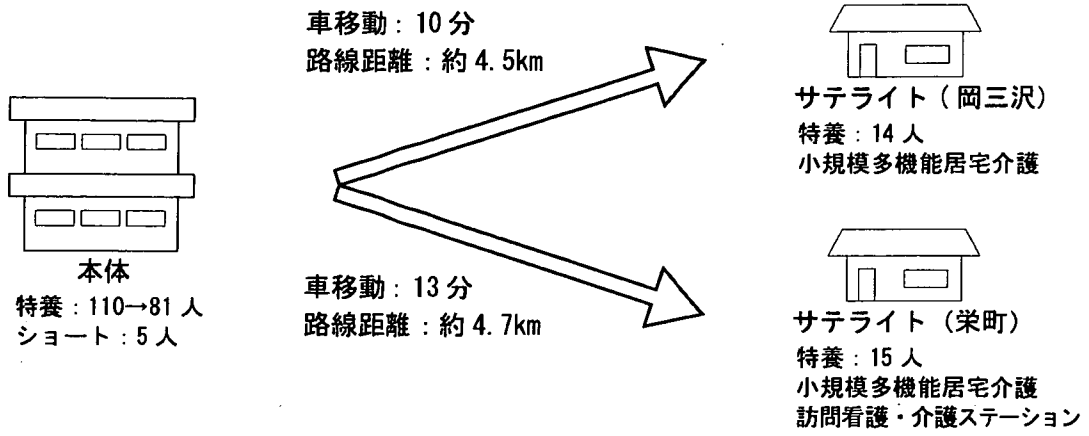
本体は三沢市の南東部にある。

サテライトは南西部の栄町地区と中北部の岡三沢地区にある。いずれも市街地の中心部または、中心部周辺であり、周辺は住宅地である。

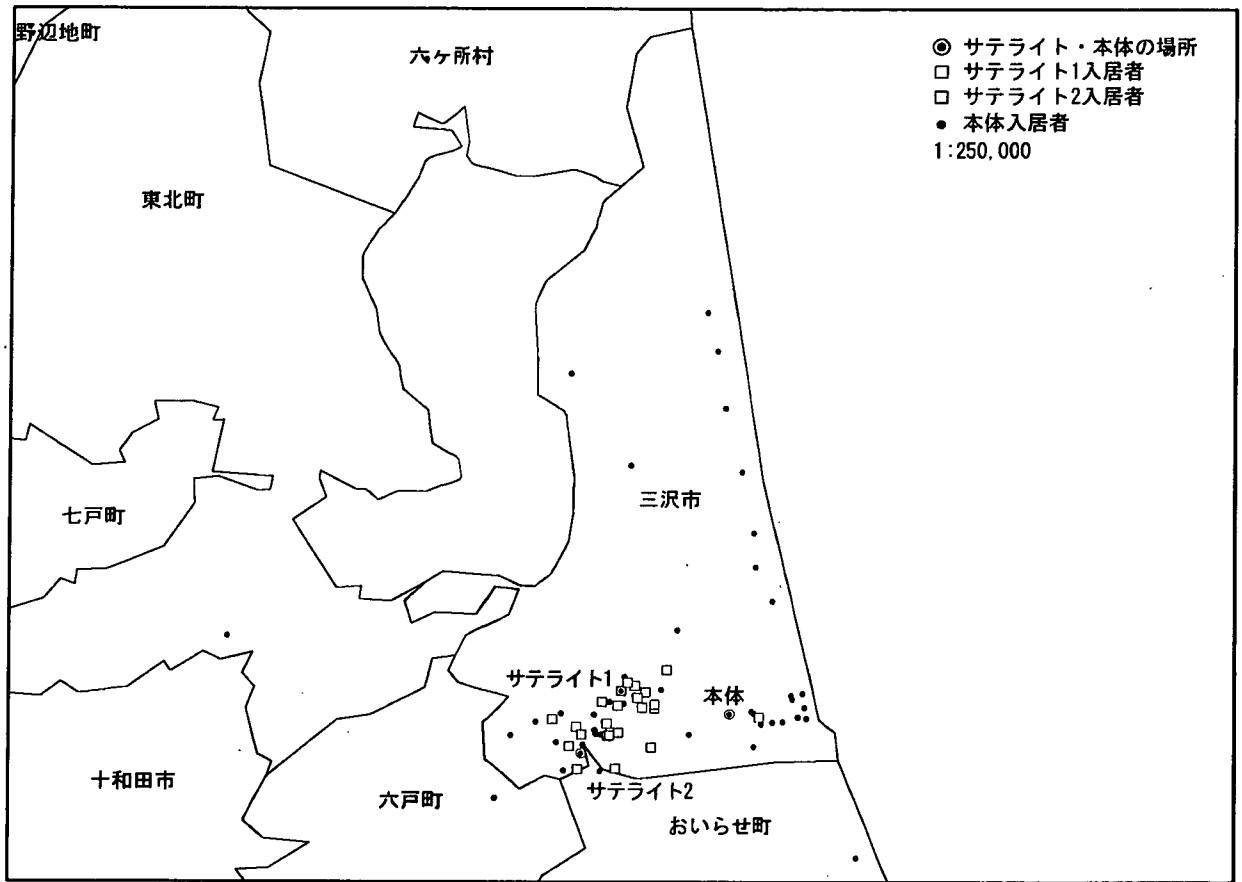
本体とサテライトの路線距離は、岡三沢地区が4.5km、栄町地区が4.7kmである。いずれも車で10分程度の場所にある。



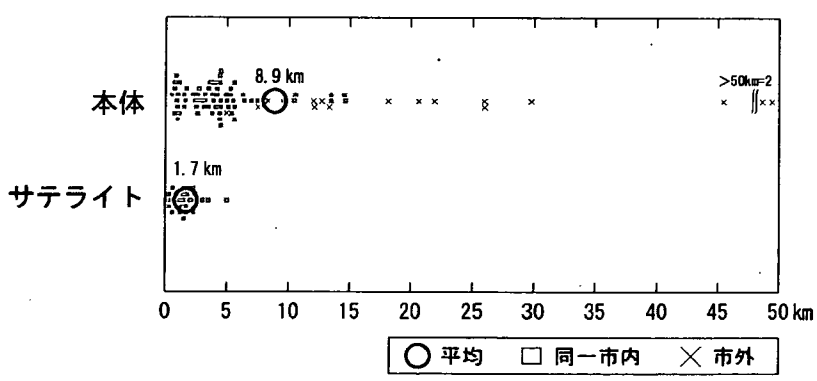
図表 1-11 本体およびサテライトの位置とその関係



図表 1-12 本体およびサテライトの距離



図表 1-13 入居者の前居住地の分布



	青森県	三沢市
面積 (km ²)	9607.04	119.97
人口 (人)	1436657	42425
人口密度 (人/km ²)	149.5	353.6
高齢者人口 (人)	326562	7692
高齢化率 (%)	22.7	18.1
独居高齢者数 (人)	41984	1230

図表 1-14 本体およびサテライトと前居住地の距離

1. サテライト施設の概要について

1	名称	岡三沢ぬくもりの家	
2	開設年	2007年2月1日	
3	所在地	青森県三沢市岡三沢一丁目24-1	
4	本体との距離	路線距離:約4.5km 移動時間:車10分	
5	建物階数	地上:2階	
6	敷地面積	2177.86㎡	
7	建築面積・延床面積	建築面積:1072.72㎡、延床面積:1134.03㎡(内、サテライト部分:775.46㎡)	
8	都市計画区域区分	市街化区域、第一種中高層住居専用地域、建蔽率60%、容積率200%	
9	土地・建物の所有形態	土地:賃借、建物:法人の自己所有	
10	建物の構造	木造(準耐火)	
11	併設サービス	小規模多機能居宅介護	
12	建設費	建設費用	約1億8千万円
		うち交付金額	6250万円
	リース代	土地のリース代 309,256円/月	
	ホテルコスト	49,200円/月 (1,640円/日)、特別室はプラス25,000円/月~30,000円/月	
13	食費	36,000円/月 (1,200円/日)	
13	定員数	入所部門:14人	
14	平均要介護度	3.64	
15	ユニット数	2ユニット	
16	ユニット定員	6人:1ユニット、8人:1ユニット	
17	職員配置	入居者:看護+介護職員 1.5:1	
18	介護職員	常勤 7人 非常勤 3人 合計10人	
19	日中の介護職員の勤務シフト	1ユニットで固定	
		早出:7時30分~16時30分	どちらかのユニットに1名
		日勤:9時00分~18時00分	各ユニット2~3名
		遅出:10時00分~19時00分	どちらかのユニットに1名
	夜勤:16時30分~翌9時30分	どちらかのユニットに1名	
20	1ユニットの職員数(標準)	朝食時:1人、昼食時2~3人、夕食時:1人	
21	夜勤の勤務体制	2ユニット(14名)で1人	
22	夜勤の勤務時間	16時間	

2. サテライトと本体との協力関係

1	全般	施設長	サテライト専属(2つのサテライトを兼務する統括施設長を本体とは別途配置) その上で各施設に小規模多機能とサテライトを担当するセンター長を配置
		生活相談員	サテライト専属
2	医療	事務員	サテライト専属
		医師	本体と兼務
		看護	サテライト専属 日中はサテライトと小規模多機能に1名ずつ配置
3	食事	栄養士	本体と兼務
		調理員	調理専門の職員は配置していない。 サテライトおよび小規模多機能居宅介護のキッチンで作る
		調理方法	朝食、夕食はサテライトのキッチン。 昼食は小規模多機能のキッチンで調理を行う。
4	協力上の特徴	<p>1.看護:小規模多機能と別に日中は常時1名配置。 今後は、夜間の訪問看護を使って24時間体制を整えていく予定。</p> <p>2.調理:サテライトと小規模多機能のキッチンのいずれかを利用する。 サテライトの看護・介護職員も調理を行う。</p> <p>3.事務:LANを用いて本体と情報を共有化</p>	

図表1-15 サテライト施設の概要

1. サテライト施設の概要について

1	名称	栄町めぐもりの家	
2	開設年	2007年4月1日	
3	所在地	青森県三沢市栄町3丁目125番地1	
4	本体との距離	路線距離:約4.7km 移動時間:車13分	
5	建物階数	地上:2階 地下:1階	
6	敷地面積	2422.05㎡	
7	建築面積・延床面積	建築面積:1644.54㎡、延床面積:1835.31㎡(内、サテライト部分:668.80㎡)	
8	都市計画区域区分	市街化区域、第一種住居地域、建蔽率60%、容積率200%	
9	土地・建物の所有形態	土地:法人の自己所有、建物:法人の自己所有	
10	建物の構造	鉄骨造	
11	併設サービス	小規模多機能居宅介護、訪問介護・看護ステーション	
12	建設費	建設費用	約2億円
		うち交付金額	6250万円
	リース代	—	
	ホテルコスト	49,200円/月 (1,640円/日)、特別室はプラス25,000円	
	食費	36,000円/月 (1,200円/日)	
13	定員数	入所部門:15人	
14	平均要介護度	4.0	
15	ユニット数	2ユニット	
16	ユニット定員	5人:1ユニット、10人:1ユニット	
17	職員配置	入居者:看護+介護職員 1.5:1	
18	介護職員	常勤 7人 非常勤 3人 合計10人	
19	日中の介護職員の勤務シフト	1ユニットで固定	
		早出:7時30分～16時30分 どちらかのユニットに1名	
		日勤:9時00分～18時00分 各ユニット2～3名	
		遅出:10時00分～19時00分 どちらかのユニットに1名 夜勤:16時30分～翌9時30分 どちらかのユニットに1名	
20	1ユニットの職員数(標準)	朝食時:1人、昼食時2～3人、夕食時:1人	
21	夜勤の勤務体制	2ユニット(15名)で1人	
22	夜勤の勤務時間	16時間	

2. サテライトと本体との協力関係

1	全般	施設長	サテライト専属(2つのサテライトを兼務する統括施設長を本体とは別途配置) その上で各施設に小規模多機能とサテライトを担当するセンター長を配置
		生活相談員	サテライト専属
2	医療	事務員	サテライト専属
		医師	本体と兼務
		看護	サテライト専属 日中は常時1名配置。常勤1名、非常勤1名。別途小規模多機能に非常勤1名。
3	食事	栄養士	本体と兼務
		調理員	サテライトと小規模多機能の介護・看護職員が共同で行う
		調理方法	サテライトおよび小規模多機能居宅介護のキッチンで作る 朝食、夕食はサテライトのキッチン。 昼食は小規模多機能のキッチンで調理を行う。
4	協力上の特徴	1.看護:小規模多機能とは別に日中は常時1名配置。 今後は、夜間の訪問看護を使って24時間体制を整えていく予定。 2.調理:サテライトと小規模多機能のキッチンのいずれかを利用する。 サテライトの看護・介護職員も調理を行う。 3.事務:LANを用いて本体と情報を共有化	

3. サテライト導入の経緯

本体は、築30年以上が経過しており老朽化への対策が急務であった。いずれ全面改築を予定しているが、それに先立ち、まち中での生活を継続できる施設を作りたいと考え、サテライトの特区申請を行った。サテライトでは、個人空間の充実を図っており、最小の居室面積が19㎡、最大の居室面積が46㎡となっている。

4. サテライトへの転居が入居者・家族・地域住民に与える影響

1 本体から移動した利用者の選定理由

本体からの移動人数 岡三沢9人(9/14)、栄町8人(8/15)

サテライトのある地域に住みなれた人、または、以前に住んでいた人。

利用者負担の観点から、本体から移った人は、14人中9人と15人中8人。その他は、周辺地域から新たに入所した。

また、本体には夜間の看護が配置されているがサテライトには夜間の看護が配置されていないので、看護ニーズの少ない人を選定した。

2 サテライトへ移ることによる利用者の効果

利用者と家族の交流が多い。

地域の人にとっては、地域の中に介護施設ができることにより、介護が必要になったときのサービスを確保できるという安心感がある。

3 サテライトへの移行に伴う課題

本体から転居してきた利用者の中には環境移行に慣れるまでに多少の時間を要した人もいた。

5. 職員の選定と育成

1 本体からサテライトへ異動した職員の選定理由

本体施設において中核的な役割を果たしている若手の職員をサテライトに配置した。

2 職員教育

ISO9001を取得しており、教育訓練管理規定がある。待遇やボディメカニクスなど、これを満たす水準で行われている。

地域密着型サービスの先進施設に職員を派遣し研修を受けた。

6. 小規模多機能居宅介護との併設における利点

1 職員配置上の利点

食事を共同で作ることができる。

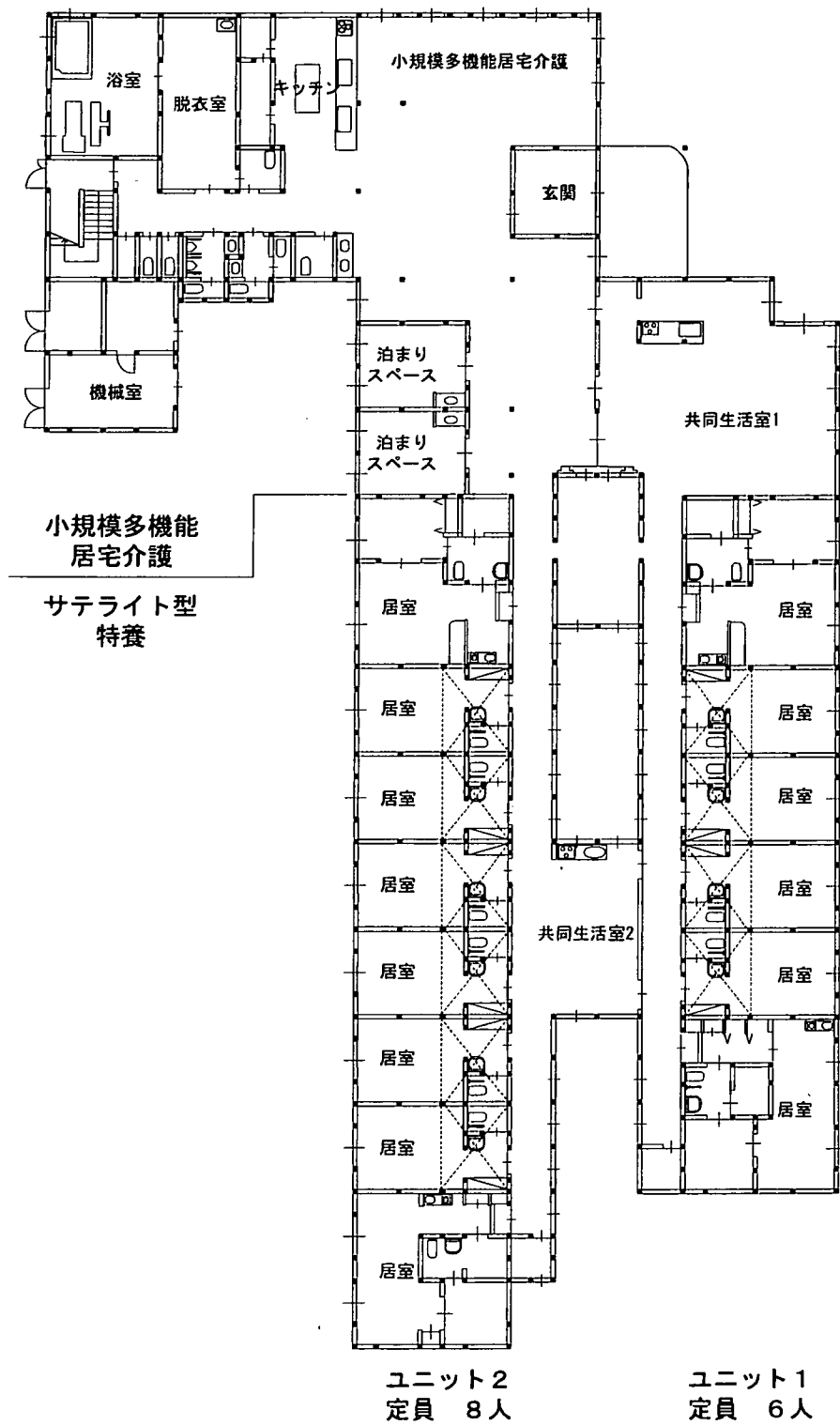
サテライトと小規模多機能居宅介護に各1名の夜勤者がいるため、職員に安心感が生まれている。

2 設備の共有化における利点

調理スペース(小規模多機能のキッチン)、事務所、職員休憩所、浴室を共有化

3 在宅機能と入居機能を合わせる利点

小規模多機能を数年間利用し、その後にサテライトを利用することにより、利用者の環境移行による負担を少なくすることができる。



図表 1-16 サテライトの平面図(岡三沢) 1/300



写真 特別居室

特別居室の面積は46㎡。1LDKで浴室もある。寝室と居間を分けることができる。また、家族も泊まりやすい。



写真 廊下部分

片廊下型。中庭に面して廊下が作られている。居室面積が広いので、廊下も長くなる。



写真 共同生活室1

6名のユニットの共同生活室。窓際の部分の床材には、クッションフロアを用いており、居間として利用している。



写真 共同生活室2

8名のユニットの共同生活室。2つのユニットの中央部に設けられており、双方からアクセスしやすい。小規模でくつろぎやすい雰囲気を作られている。



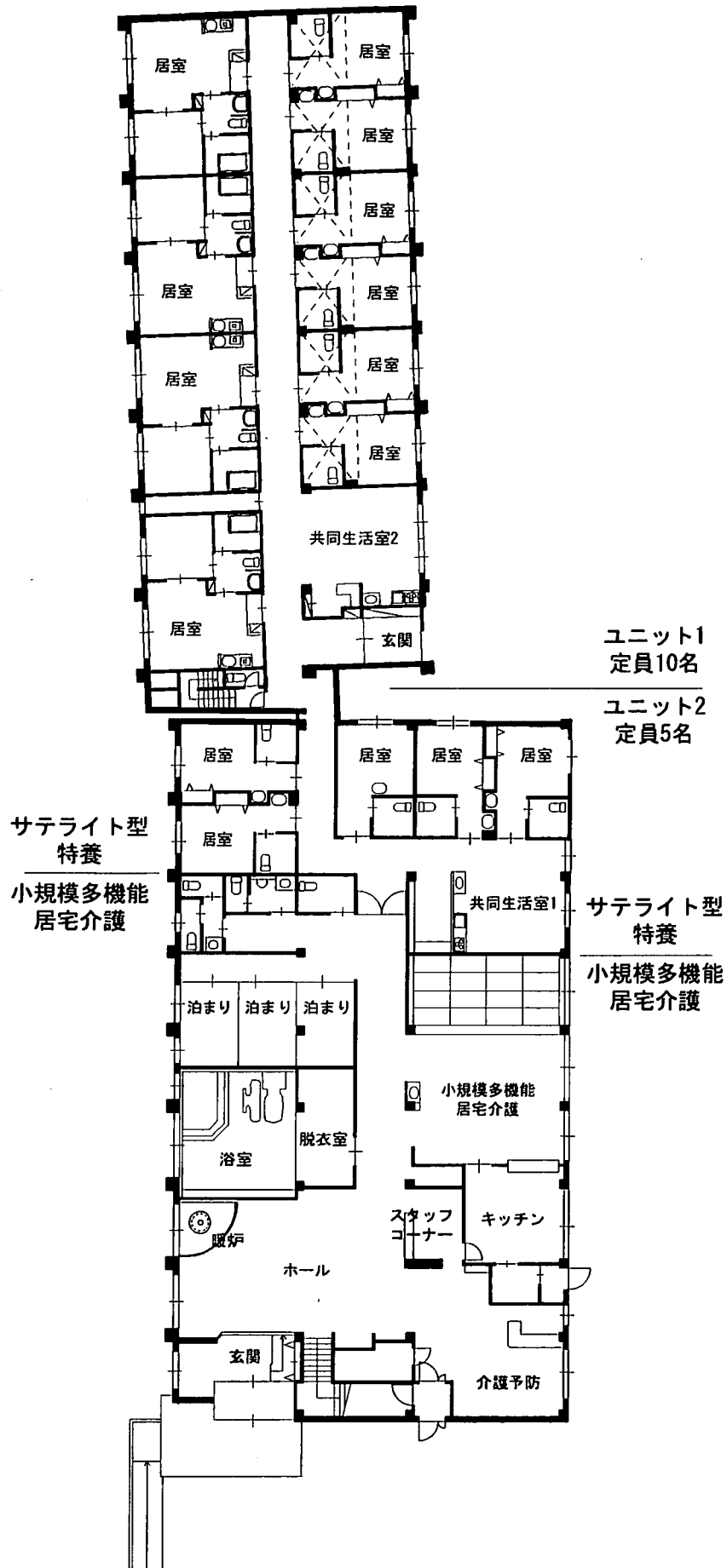
写真 小規模多機能の食堂

玄関を入ると小規模多機能のスペースがある。小規模多機能と連続してサテライトが配置されている。



写真 小規模多機能のキッチン

小規模多機能とサテライトの食事を作る。小規模多機能の食堂と繋がっており、食堂から調理の雰囲気を感じ取れる。



図表 1-17 サテライトの平面図(栄町) 1/300

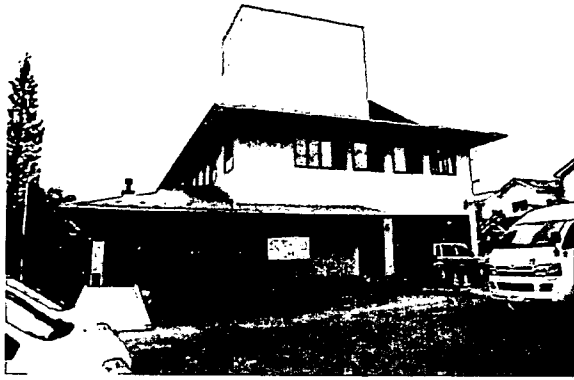


写真 外観

旅館を小規模多機能とサテライトに改修。内部は全面改修を実施。サテライトの1ユニット分は増築。



写真 小規模多機能のキッチン

小規模多機能居宅介護にあるキッチン。広めに作られており、サテライトと小規模多機能居宅介護の食事を作る。



写真 共同生活室 2

10名のユニットの共同生活室。キッチンや小スペースが設けられている。



写真 共同生活室の小スペース

共同生活室と連続して、窓際に小スペースが設けられている。クッション性の床材が使用され、コタツなどが置かれている。



写真 居室

各居室にはロフトが設けられている。ロフトは、家族の泊まりスペースや収納スペースとして使用されている。

1. 本体施設の概要について

1	名称	三沢特別養護老人ホーム
2	所在地	青森県三沢市字園沢156-8
3	開設年	1973年
4	建物階数	地上：2階(一部3階)
5	併設サービス	介護支援センター、デイサービス、同一敷地内に養護老人ホーム
6	敷地面積	6280㎡
7	建築面積・延床面積	建築面積：2845.13㎡
8	都市計画区域区分	無指定、建蔽率70%、容積率200%
9	建物の構造	RC造
10	平均要介護度	3.72
11	ホテルコスト	多床室：9,600円/月(320円/日)

2. 改修の全体像

現在の2箇所のサテライトに加えて、さらに3箇所のサテライトを建設予定である。サテライトへの転出に伴う定員減により、6床室を3から4床室とし、居住環境の改善を行う予定である。
また、築30年以上が経過しているため、必要に応じて修繕を行い、いずれは全面改築を行う予定である。

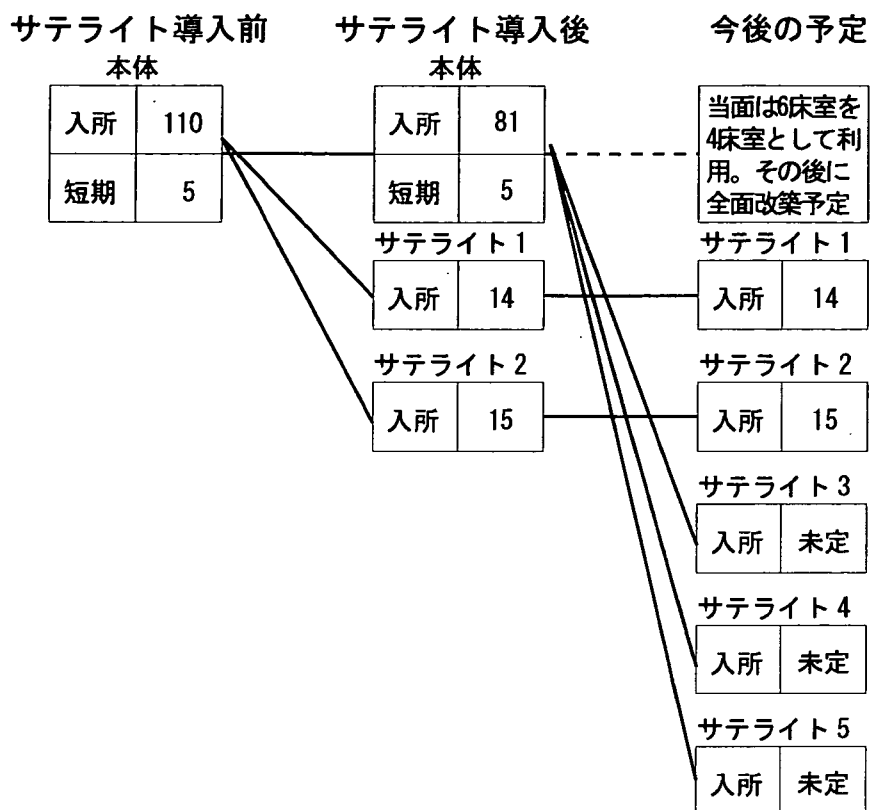
3. 改修の状況

年	内容
1973年	定員50名で開設
1975年	定員100名に増床
1979年	定員110名に変更
2007年	サテライトへの転出に伴い、6床室を主に4床室として利用(工事は実施していない) 現在の定員は入所81名、短期5名

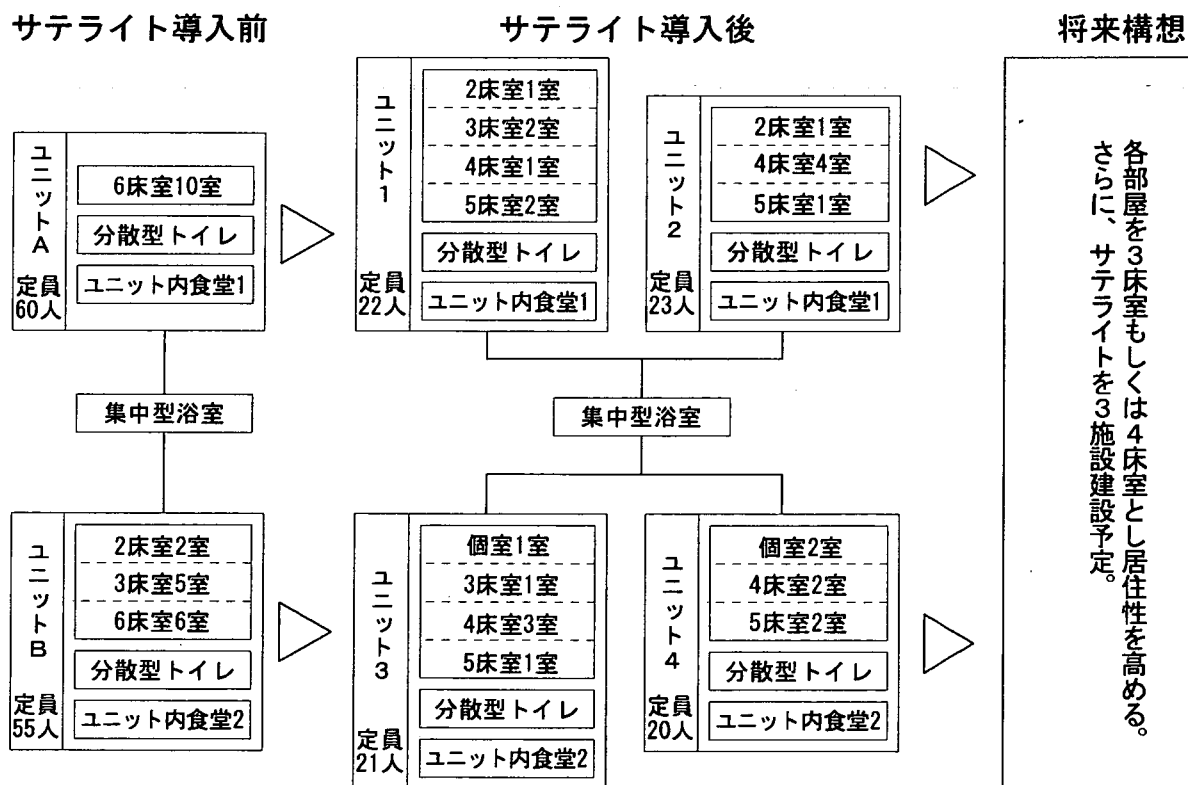
4. ソフト・ハードの概要

		改修前					改修後					
ソフト	定員	入所： 110名 短期入所： 5名					入所： 81名 短期入所： 5名					
	ユニット数	2ユニット					4ユニット					
	ユニット定員	1グループ：60名 2グループ：55名					1グループ：22名 2グループ：23名 3グループ：21名 4グループ：20名					
ハード	職員配置 入居者：看護+介護職員	2.03：1					1.9：1					
	居室	部屋数 (シヨートを除く)	個室	2床室	3床室	5床室	6床室	個室	2床室	3床室	4床室	5床室
		0	2	5	0	16	3	2	3	10	6	
	改修内容	6床室が主体 各居室前には洗面とトイレがある					全室を3から4床室として利用					
食堂	ユニット毎の有無	2箇所分散して配置 食堂に合わせて介護単位を設定					変更なし					

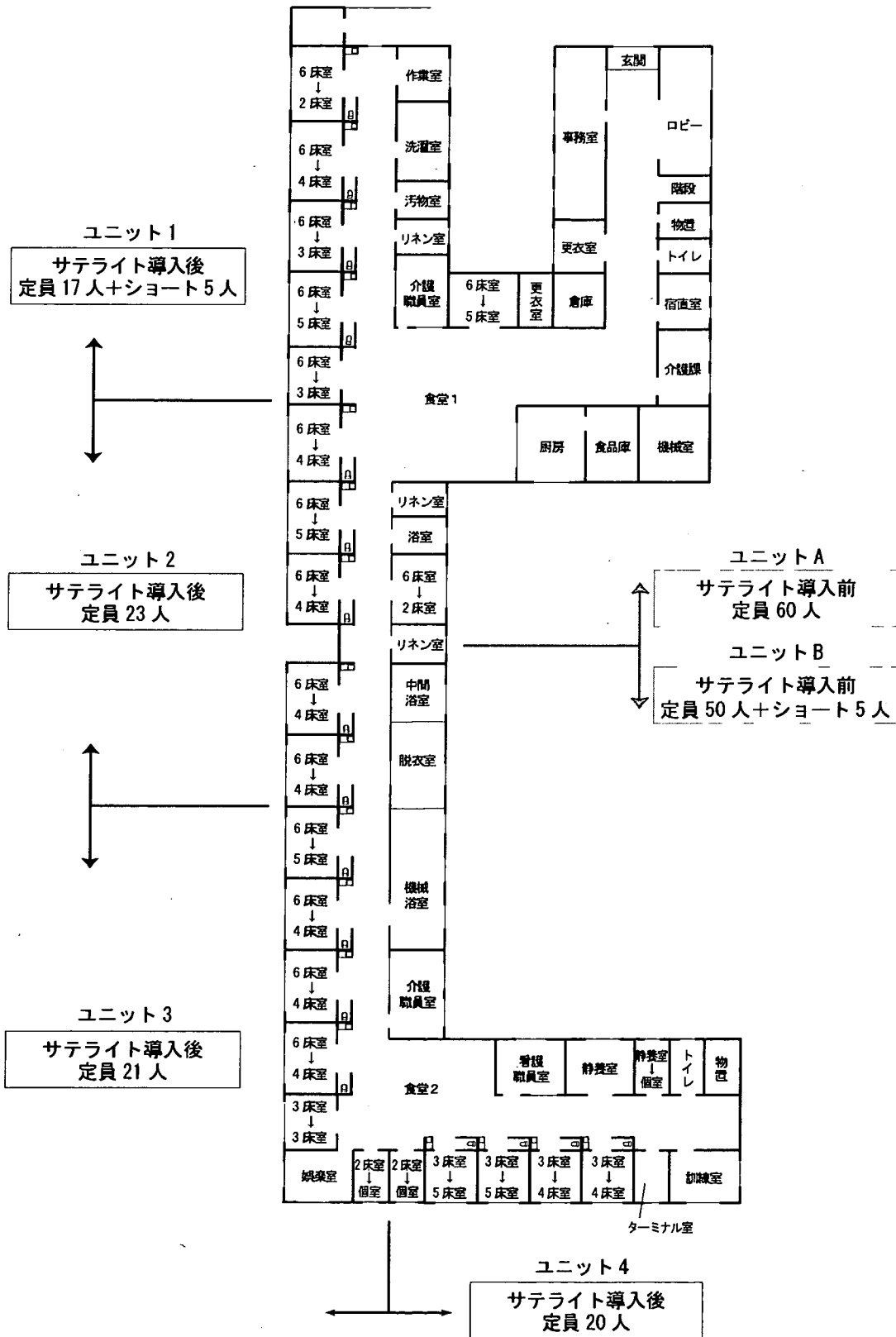
図表 1-18 本体施設の概要



図表 1-19 サテライト展開の概要



図表 1-20 本体改修の概要



図表 1-21 本体施設の平面図 1/600

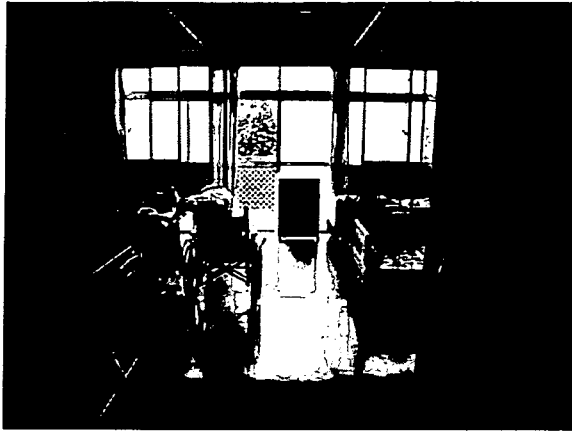


写真 居室

6床室。今後は4床室として利用する予定。

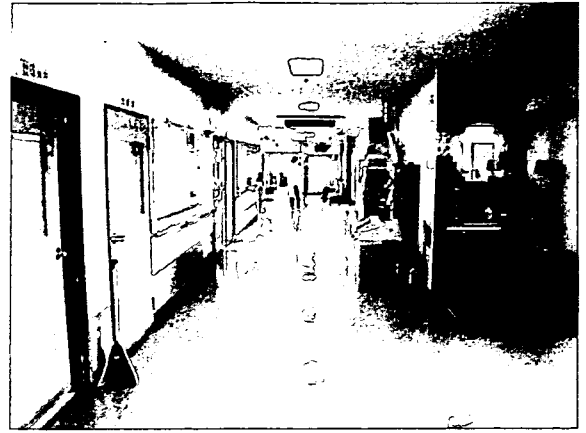


写真 廊下

片側に居室、もう一方には食堂、浴室、そして職員室が配置されている。



写真 2階浴室

ユニット1、2の食堂。奥にみえるのが厨房。食事は配膳車を利用。



写真 食堂2

ユニット3、4の食堂。



写真 居室前洗面

各居室の入り口部分にシンク型の洗面とトイレが設置されている。

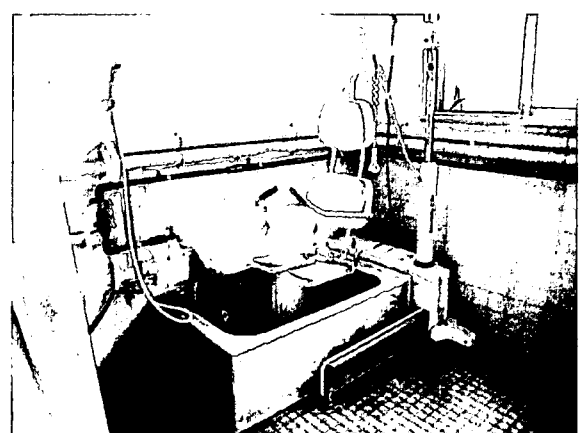


写真 浴室

個別浴槽及び、いす昇降式浴槽として利用できる浴槽が設置されている。

調査事例3 高齢者総合ケアセンター こぶし園	本体施設名	特別養護老人ホームこぶし園
	サテライト施設名	特別養護老人ホーム 美沢

法人の概要

1982年、新潟県長岡市に高齢者ケアセンターこぶし園は開設された。定員100名の特養からスタートされたが、可能な限り住み慣れた自宅あるいは地域での生活を支えるために、在宅サービスの拡張を行っている。

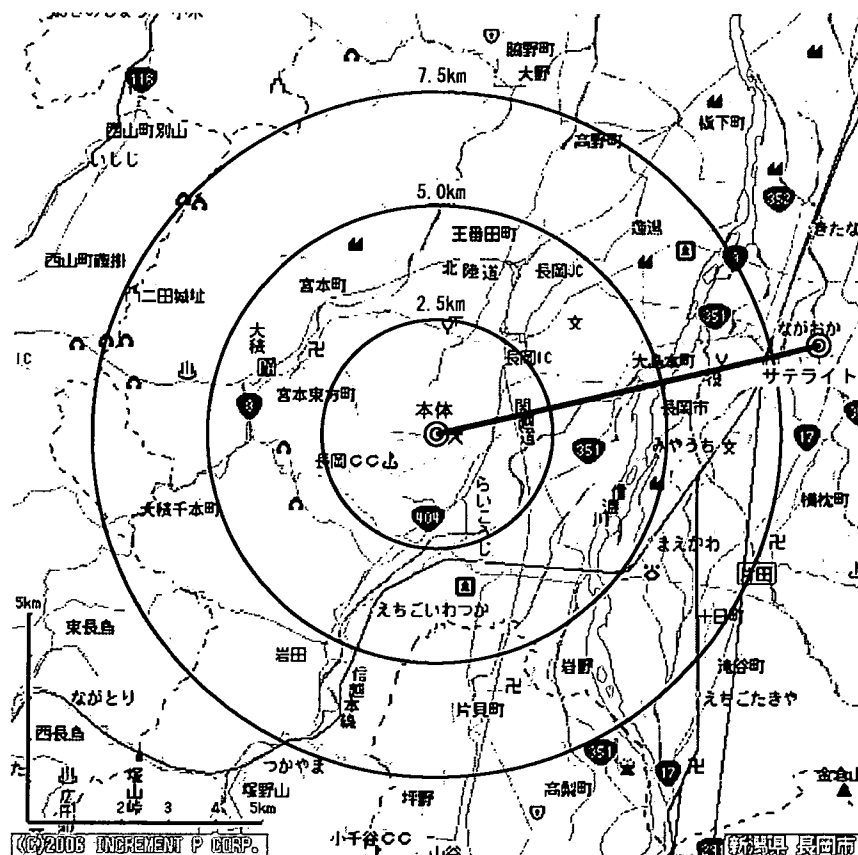
在宅サービスとしては、1990年のショートステイ50床（1997年に30床増床）を皮切りに、公民館を利用したサテライトデイサービス、7時30分～18時30分までのデイサービスセンター、365日のホームヘルプサービス（4箇所）、訪問介護（3箇所）、配食サービス（3箇所）、そしてグループホーム（3箇所）を長岡市内に展開している。

現在では、バリアフリーの住環境と介護、看護、食事を24時間365日提供する小地域完結型のサービス拠点となるサポートセンターを既に3箇所整備している。

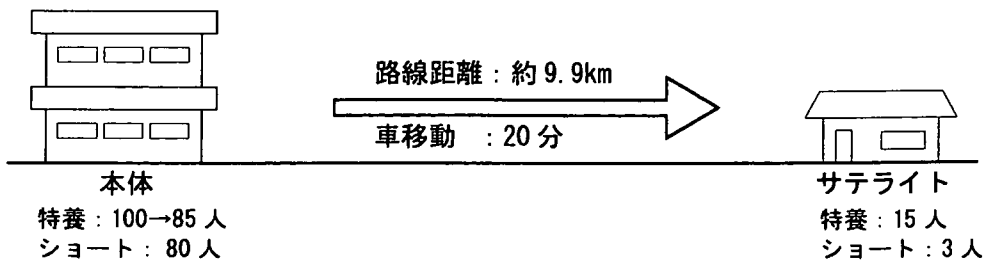
本体およびサテライトの立地と位置関係

本体施設は長岡駅から直線距離で7.5kmほど離れており、駅からの公共交通手段はバスである。本体は山の中腹にあり、徒歩圏に生活用品を購入できる店舗はない。本体の周りには系列病院や障害者施設があり、大規模な福祉総合エリアになっている。

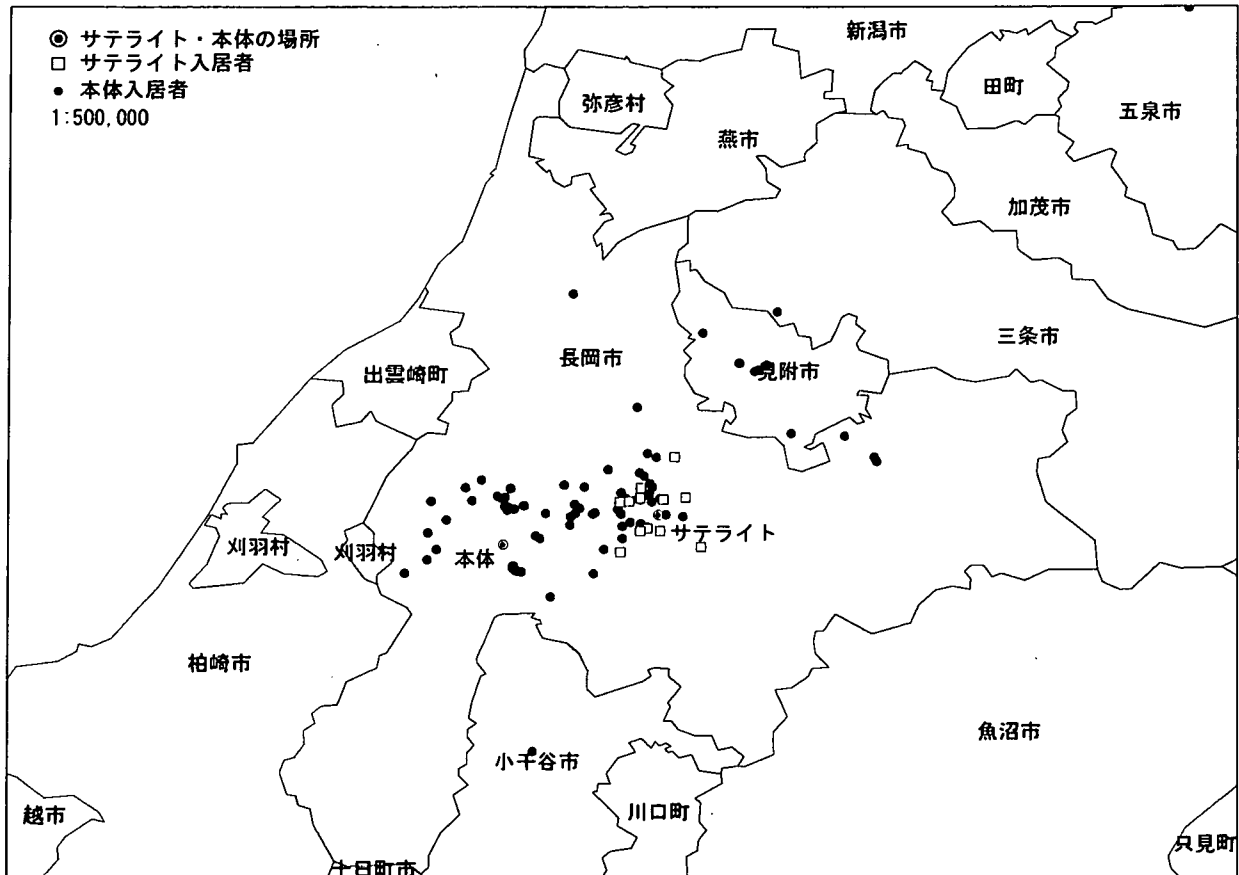
サテライトは、本体から路線距離で9.9kmほど離れた場所にあり、本体からは車で20分ほどである。長岡駅からも近く、徒歩で駅まで行くことができる。



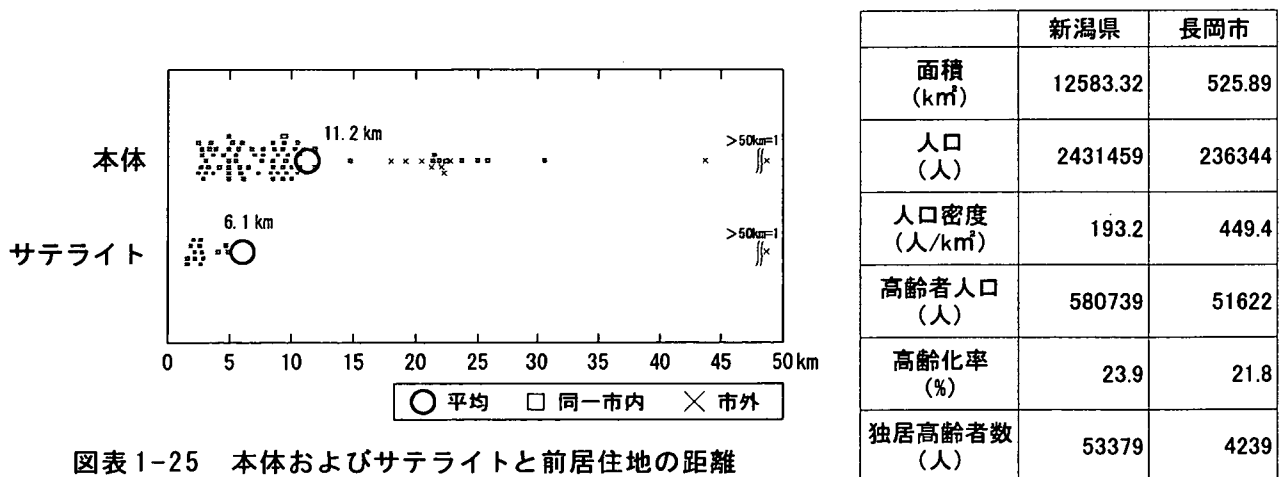
図表1-22 本体およびサテライトの位置とその関係



図表 1-23 本体とサテライトの距離



図表 1-24 入居者の前居住地の分布



図表 1-25 本体およびサテライトと前居住地の距離

1. サテライト施設の概要について

1	名称	特別養護老人ホーム 美沢	
2	開設年	2006年3月20日	
3	所在地	新潟県長岡市美沢4丁目211-6	
4	本体との距離	路線距離: 約9.9km 移動時間: 車20分	
5	建物階数	地上: 1階	
6	敷地面積	1972m ²	
7	建築面積・延床面積	建築面積: 912.62m ² 、延床面積882m ²	
8	都市計画区域区分	市街化区域、第2種中高層住居専用地域、建蔽率60%、容積率200%	
9	土地・建物の所有形態	土地: 賃借 建物: 賃借	
10	建物の構造	木造(準耐火)	
11	併設サービス	小規模多機能居宅介護、配食サービス拠点	
12	建設費	建設費用	1.6億円前後(オーナー負担)
		うち交付金額	なし
	リース代	土地建物合せて: 135.5万円/月	
	ホテルコスト	59,100円/月(1,970円/日)	
	食費	41,400円/月(1,380円/日)	
13	定員数	入所部門: 15人、短期入所部門: 3人	
14	平均要介護度	4.3	
15	ユニット数	2ユニット	
16	ユニット定員	9人×2ユニット	
17	職員配置	入居者: 看護+介護職員 1.8:1	
18	介護職員	常勤 8人	
19	日中の介護職員の勤務シフト	2ユニットで固定	
		7:30~16:00 :1人	
		9:00~17:30 :1人	
		10:30~19:00 :1人	
		17:30~ 2:00 :1人	
2:00~10:30 :1人			
20	1ユニットの職員数(標準)	朝食時:1人、昼食時:1.5人、夕食時1人	
21	夜勤の勤務体制	18人で1人	
22	夜勤の勤務時間	8時間	

2. サテライトと本体との協力関係

1	全般	施設長	本体と兼務
		生活相談員	本体と兼務
		事務員	本体と兼務
2	医療	医師	本体と兼務(本体と同じ嘱託医が担当)
		看護	本体と兼務(訪問頻度: 毎日午後から1名滞在) 4人の看護職で本体とサテライトをカバー。内、1人がサテライト勤務。
3	食事	栄養士	本体と兼務
		調理員	サテライト専属
		調理方法	サテライトの厨房で食事を全て作る サテライトの厨房職員が配食サービスを行う。 配食は1日35食程度。昼、夜の割合が高い。 15~18食×3回 + 15食 + 35食 = 約100食前後/日 サテライト 小規模多機能 配食
4	協力上の特徴	1.看護: 毎日午後に本体から看護職が派遣されている。 サテライトへ訪問する看護職は固定している。 夜間の対応は本体と兼務であり当番制である。 2.調理: サテライト内の厨房で配食まですべて行う。 3.事務: LANを用いて本体で行う。	

図表 1-26 サテライト施設の概要